京阪グループ環境方針

京阪グループは、環境理念に基づき、グループの様々な事業活動から生じる環境への影響に配慮し対応していくことを社会的責務と認識し、次の通り「環境方針」を定めます。

１．意識の向上

私たちは、環境への影響を常に考えながら業務に取り組み、環境問題に対する意識の向上を図ります。

２．法規の遵守

私たちは、環境に関する法規制を遵守します。

３．目的や目標の設定と継続的な改善

私たちは、環境にやさしい事業運営につながる目的や目標を設定し、それらを達成するために仕事の進め方を見直しながら、継続的な改善を推し進めます。

４．環境負荷の低減や環境汚染の予防

私たちは、限りある資源を有効に利用し、省資源・省エネルギーの推進、温室効果ガスの削減や廃棄物の削減などを図ることにより、環境負荷の低減や環境汚染の予防・地球環境の保全に努めます。

５．重点実施項目

私たちは、当社の事業活動による環境面での影響の特性を考慮し、次の項目について重点的に取り組みます。

⑴温室効果ガスの削減

⑵廃棄物の削減・水資源の有効利用

６．地域社会への貢献

私たちは、企業市民であるという自覚を持ち、環境に配慮した日常の行動を通じて地域社会に貢献します。

この環境方針は、全従業員に周知させるとともに、社外にも公開します。

２０２４年　４月　１日

京阪バス株式会社

取締役社長　三　浦　達　也

環境問題への取り組み

京阪バス株式会社は、企業の社会的責任として環境負荷の低減を目指す公共交通機関であり、積極的に環境保全活動に取り組んでいます。

◆ 低公害車両の導入

● **アイドリングストップ装置装着バス**

バスが停車したときにエンジンの自動停止を行い、無駄なアイドリングをなくして排気ガスを削減します。
また、アイドリングストップ装置が付いていないバスもターミナル等では、手動によりアイドリングストップを行っています。

● **ハイブリッドバス**

ディーゼルエンジンとともに電気モーターを使用し、燃料の使用量を抑えます。

● **電気バス**

走行時の排出ガスが出ません。

低公害車両保有数(２０２４年３月末現在)

車種別	車両台数
アイドリングストップ装置装着バス	４８２
ハイブリッドバス	３
電気バス	１４

◆ 利用促進のための施策

お得な運賃制度や快適な車両運行により、自家用車のご使用を少しでも控えていただき、一度にたくさんの方にご利用いただけるバスにより環境負荷の低減を図ります。

● **環境定期券制度**

通勤定期券を所持されているご本人とご同伴の同居家族の方を対象に土・日・祝日及び特定日（お盆・年末年始）のご利用金額を割り引く制度です。
※ 適用条件があります。

● **バリアフリー車両の導入**

高齢者や身体障害者の方にご利用しやすいバスです。
・ノンステップバス
　乗降口の階段がありません。国土交通省が認定する標準仕様です。
・ワンステップバス
　乗降口の階段が一段になっています。

バリアフリー車両保有数(２０２４年３月末現在)

車種別	車両台数
ノンステップバス	３９０
ワンステップバス	１３３

● 京阪グループバスナビ

バスの接近情報や時刻表、のりば、目的地までの所要時間、運賃などをご案内します。

● 公共車両優先システム（ＰＴＰＳ）

バスが優先的に通過できるよう信号機の制御を行うためスムーズな運行が可能になります。

※ 石山駅⇔大石小学校間（滋賀県）及び枚方→高槻方面ゆきのみ